

會告

▲其後の入會者左の如し

岐阜市元濱町松井分店内

武藤芳太郎

米澤市南谷地小路

川島 穎正

大阪市南區天王子町上ノ宮町

西村 亮三

京都府伏見町下油掛

岡本善之助

京都府龜岡町安町廣瀬五六七方

石田 義一

▲贊助會員佐藤和治氏は本所區龍岡町二一

武藏屋方へ、全鈴木建二郎氏は大阪東區寺

山町七七一へ、正會員赤壁徳彦氏は越中國

小杉町へ、全小林重三氏は滋賀縣膳所農事

試験所内へ、贊助會員柴崎亨氏は群馬縣碓

氷郡横川町へ、正會員大橋三平氏は水戸市

上市梅香小林氏方へ、何れも轉居せられた

り▲八月中は本會幹部の諸氏旅行等にて作

品批評等自然相遅れ可申候に付、全月御提

出の分に限り返送は九月十五日迄と御含み

置被下度候。

▲高橋松治氏發起の中台氏に對する弔慰金

は外山、高橋、三郷(會員外)森(寅太郎)白

井、福島、寺田、岡本、大橋諸氏の御賛同

を得て、メ切日迄の總額金貳圓十錢を取

纏め、本會より中台藤吉氏へ送呈致置候



□夏期講習會出席希望者にして、開會中な

れば何日にも中途より入會出來得べきか

との問合せ有之候、會場餘席あれば差支無

之候

■新築中の水彩畫研究所は漸く落成致候に

つき、九月初旬より開校可致候。課目は墨

繪、パステル、圖案、水彩畫、透視畫法等

にして、午前、夜、等に分ち靜物(石膏模

型を含む)人體、戶外寫生等の研究法を設

け猶別に傍業畫家の爲めには従前の通り日

曜日も開校可致候。

□右詳細の規定は出來次第發表可致候。

□九月第四日曜日に繪葉書競技會第三十三

回を開くべく候間、全月二十日迄に御出品

有之度候(規定は十九號以前の『みづゑ』に

あり)

課題 露(意匠) 夕陽(技術)

□次號の『みづゑ』は都合により一週間程發

行日遅延致すべくやも圖りがたく候につき

豫め御斷り申置候

□夏期講習會には多くの參考品を携へゆき

候筈に付大阪附近の會員及讀者諸君にして

一覽を望まるゝ方々は、八月十二日午後、

南區生國魂町西照館へ、御參會ありたく候

及展覽會を開くべく、これ又御參會自由に

御座候。

編者より

◎京都松岡氏へ 叮嚀な寫生で緑の色は殊

によい、モ少し暖か味があつたら猶よから

うと思ふ◎福井石川氏へ 手際のよいのは

敬服堤上の樹木の影が水の上へ少し顯はし

たい◎大森氏へ 船の畫は岸の色が黄に過

ぐるやうだ、これが山鹿邊の自然なら詮方

がない。雲の繪は雲と前の樹と離れない。

杉の繪は濃淡の調子が散漫である。林中の

繪は一番よい、遠山がモット柔らかであつ

て欲しい◎立花氏へ 夕景は面白い前景の

影には研究の餘地がある。花園はモット明

るく畫いて欲しい。夏の花は色が寒過る